

NO	局	所管部	施策	指摘対象	指摘事項
1	市民文化局	市民自治推進室		施策全般 (町内会関連)	町内会の維持に向け、SNSの活用といった若い世代を取り込むための情報発信の仕組みづくりを支援し、その仕組みを取り入れたモデルエリアの設置などを検討すること。

令和2年度行政評価委員会 報告内容及び委員意見	
報告内容	委員意見
<p>町内会活動をより分かりやすく、若い世代にも伝わりやすい形で発信するため、電子回覧板のモデル事業を想定しておりましたが、令和2年度も予算措置が見送られたことから、具体的な取組を行うことが困難な状況となっております。</p> <p>引き続き取組の実現に努めるとともに、当該モデル事業を実施する際に効果的な取組となるよう、町内会アドバイザー派遣事業などの既存事業を活用し、先行してSNS活用に伴う課題の把握に取り組んでまいります。</p> <p>【令和2年度評価：B】</p>	<p>○特に、今、コロナウイルスの関係で、町内会の回覧板をやめてほしいという意見があつて、電子回覧板ができるとすごく良い。</p> <p>○引き続き、予算確保して実施に向けて取り組んでいただき、経過についてご報告いただきたい。</p>

令和3年度行政評価委員会 指摘事項への対応結果及び評価案	
指摘事項への対応結果	評価案
<p>これまで、町内会アドバイザー派遣事業などの既存事業において、SNS活用に伴う課題の把握に取り組んでまいりました。</p> <p>町内会においても、若い世代を取り込むにはSNS活用が有効との認識はあるものの、町内会役員がSNSの利用に不慣れであること、町内会のSNSはあるものの地域の認知度が低い等の課題が明らかとなりました。</p> <p>これらの課題に対応すべく、町内会におけるSNS活用を推進するための取組として、令和3年度から新たに電子回覧板モデル事業を実施しております。</p> <p>現在、10の町内会をモデル町内会に選定し、電子回覧板の導入に向け、地域の課題や特性に応じたツールの提案や導入後の周知支援、継続するための組織体制の構築支援等の支援を実施しているところです。</p> <p>SNSの活用により、迅速に多くの情報を、若い方を含めた多くの方に提供することが可能となることから、SNSを用いた町内会からの積極的な情報提供により、町内会の必要性を再認識してもらうとともに、活動に参加するきっかけづくりをすることで、若い世代の取り込みにつなげていきたいと考えております。</p> <p>今回のモデル事業は、特定の町内会に対して電子回覧板導入のための支援を行い、課題を整理した後に導入マニュアルを作成するものであり、今後、導入マニュアルの活用等により町内会におけるSNSの活用を進めてまいります。</p> <p>SNS活用による効果の反映については、時間を要するものと考えておりますが、引き続き、既存事業やアンケート等の機会を通じて、SNS活用の課題やその効果について検証を進めてまいります。</p>	<p>A</p>

平成30年度 行政評価委員会指摘事項と改善・見直しの検討結果(再報告)

【資料1-2】

NO	局	所管部	施策	指摘対象	指摘事項
2	市民文化局	市民自治推進室	3-1 地域活動を活発化する 環境づくり	地域まちづくり 人材育成事業	コーディネーターの育成・活用に向けては、派遣を有償化する仕組みづくりなど、取組を強化する手法について検討すること。

令和2年度行政評価委員会 報告内容及び委員意見	
報告内容	委員意見
<p>令和元年度の地域まちづくり人材育成事業のうち、コーディネーター育成に関するセミナーとしては、以下の内容を企画・実施いたしました。</p> <p>コーディネーターの育成・活用に向けて、このようなすそ野を広げる取組を今後も進め、取組の一層の強化に努めてまいります。また、この中で、派遣を有償化する仕組みづくりについても、引き続き研究を行ってまいります。</p> <p>名称: まちで役立つコーディネート力養成セミナー                      &lt;第1回&gt;「伝える力」を磨こう!                      日時: 令和元年11月17日(日)13:30~17:00                      会場: かでる2・7 1020会議室 参加: 22人                      &lt;第2回&gt;「ファシリテーション力」を磨こう!                      日時: 令和元年11月30日(土)13:30~17:00                      会場: 道特会館5階B会議室 参加: 22人                      &lt;現場実習&gt;                      その1 石山ひろばの活用を考えるワークショップ                      日時: 令和2年1月26日(日)13:30~15:30                      会場: 石山ひろば 参加: 9名                      その2 ブックフェスのこれからを考える交流会                      日時: 令和2年2月22日(土)13:30~16:00                      会場: 道特会館5階B会議室 参加: 9名                      &lt;第3回&gt;「コーディネート力」を磨こう!                      日時: 令和2年3月7日(土)13:30~17:00                      会場: 道特会館5階B会議室                      ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【令和2年度評価:B】</p>	<p>○研究の途中段階でも、報告いただきたい。</p>

令和3年度行政評価委員会 指摘事項への対応結果及び評価案	
指摘事項への対応結果	評価案
<p>■指摘事項「取組強化手法の検討」への対応                      受講者アンケートにおいて「さらなる知識習得」の声が多いことから、①令和2年度より受講者に修了証を発行し「まちづくりコーディネート」への意欲向上を図るとともに、②修了者向けレベルアップセミナーの開催を検討しております(一定数の受講希望者が期待できる令和4年度以降の開催)。                      また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、令和2年度はオンライン開催としました。今後は、オンラインの強みを生かし、いつでも・どこでも・だれでもまちづくりコーディネートの基本を学べるような、動画コンテンツの作成なども検討してまいります。</p> <p>■指摘事項「(受講者を)有償派遣するような仕組みづくり」について                      有償派遣の仕組化を検討する中で、有償派遣のニーズ(*1参照)は極めて低いことが判明しました。ほか派遣コーディネーターのスキルを証する手法の確立や、民間事業者との住み分けといった課題も散見されることから、現時点で有償派遣の仕組化は困難なものと考えられます。事業の有効性を確保するためには、まずは各種団体の活性化やニーズの高まりが必要不可欠なものであります。                      よって当面は、コーディネーター養成講座などにおける参加者自身の意欲向上やスキルアップといった成果に加え、参加者の口コミやSNS等による情報発信を活用した広報に注力し、まちづくりへの興味喚起・自分ごと化といった下地作りを通じ、各種団体の活性化やニーズの高まりを創出し、ニーズの高まりが確認できた段階で改めて検討することとしたい。</p> <p>(*1)有償派遣のニーズ調査結果                      (1) 受講者に対するヒアリング結果:「自身の所属団体を含め、有償で派遣を希望すると考えられる団体」への意見は0件                      (2) 北海道主催の「地域づくりアドバイザー紹介制度(有償派遣)」において、団体(NPOなどの)からの派遣依頼実績は過去3年間で0件</p> <p>&lt;令和2年度取組詳細&gt;                      名称: コーディネート力養成セミナー(全3回)                      申込: Aコース(リアルタイムでオンラインセミナーを受講・演習) 19名                      Bコース(後日、講義部分に限り動画を視聴・演習なし) 25名                      &lt;第1回&gt;今こそ求められるまちづくりコーディネーターの役割                      日時: 令和3年1月23日(土)13:30~16:30 参加: 17人 動画視聴: 116回                      &lt;第2回&gt;オンラインを味方に! ファシリテーションの基本                      日時: 令和3年2月13日(土)13:30~16:30 参加: 16人 動画視聴: 95回                      &lt;第3回&gt;まちの活動を支えるオンラインワークショップの実践                      日時: 令和3年3月6日(土)13:30~16:30 参加: 12人 動画視聴: 72回                      Aコース全3回を受講・演習した10人に、修了証を発行しました。</p>	<p>A</p>